

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	環境都市・建築デザインコース 実験 I (9006)	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数		学修単位: 3		
開設学科	産業システム工学専攻環境都市・建築デザインコース		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		3		
教科書/教材	担当教員から指示がある。						
担当教員	藤原 広和,丸岡 晃						
到達目標							
具体的な現象を前にして基礎理論について再考し、その内容を身につけると同時に結果を説得力のある文章で報告ができるようになる事。自専攻だけでなく、他分野の基礎的な知識と計測・実験技術を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 DP2 学習・教育到達度目標 DP3 学習・教育到達度目標 DP4 学習・教育到達度目標 DP5 地域志向 ○							
教育方法等							
概要	建設環境工学の主要分野の専門知識・技術を体験・習得し、応用・展開する能力の素養を身に付ける。また、継続的・自律的に学習できる生涯自己学習能力の養成を行い、種々の科学・技術・情報を利用して社会の要請を解決する為の能力を養成する。与えられた制約下で計画的に仕事を進め、まとめる能力を身に付ける。 建設環境工学における様々な現象を、体験学習を通して理解する事が、この科目の目標である。実験を通じて計画能力・計画に従い実施する能力・現象を理解する能力・自分の考えを伝達する能力の素養を習得する。						
授業の進め方・方法	実験担当教員はオムニバス方式により各教員が担当する。構造関係（杉田、丸岡）、水工関係（藤原）、地盤関係（清原）、環境関係（矢口）の土木工学の様々な分野の実験を行う。各実験において計画・測定・解析・まとめを教員の指導のもとで行う。 評価方法：教員が、実験の目的を理解し、内容を把握できているか、自分の考えを的確に説明できているか等を報告書や口頭試問によって100点満点で総合的に評価する。 総合評価は100点満点として、60点以上を合格とする。						
注意点	各担当教員から実験についての説明があるので、別途指示される書式を満足した報告書が提出期限内に提出されなければならない。やむを得ない事情により欠席した場合は担当教員の指示を受ける事。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	活性汚泥法の諸特性の測定（矢口）（27時間）				
		2週	G N S S測量－スタティック測定とR T K測定－（藤原）（27時間）				
		3週	構造物まわりの流れの数値解析（丸岡）（27時間）				
		4週	構造物の数値解析（杉田）（27時間）				
		5週	地盤環境調査技術の習得（清原）（27時間）				
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		レポート・口頭試問			合計		
総合評価割合		100			100		
基礎的能力		0			0		
専門的能力		100			100		
分野横断的能力		0			0		